

# 博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

— 砂金掘り大会 —

## 集え!砂金掘り師

# WANTED



甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

THE Yu-no-oku MUSEUM OF GOLD MINING HISTORY

# 「博物館の地域連携にみる 無限大の可能性」

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一 夫

## 全国博物館館長会議に参加して

去る6月9日(水)、文部省生涯学習政策局と財団法人日本博物館協会主催の平成22年度全国博物館館長会議(第17回)が、文部科学省において開催されました。当館からも毎年館長(筆者)が出席、国の行政報告や全国博物館動向や課題などの最新情報の収集に努めております。

参加館は、北海道から沖縄県までの博物館・美術館・動物園・水族館・植物園など461館に及びました。先ず報告事項として、行政報告Ⅰ・文部科学省生涯学習政策局社会教育課・神代課長の報告に次ぎ、行政説明Ⅱ・文化庁文化財部美術学芸課・栗原課長からの報告がありました。

報告Ⅰで、日本の博物館の制度的分類と館数は、登録博物館・昭和62年に523館が平成20年度は907館(当館はこの中に入ります)、博物館相当施設・同224館が同341館に、博物館類似施設・同1,574館が同4,527館(2.5倍)を数えます。その中で歴史博物館が最多で3,327館あります。報告Ⅱでは、美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業参加への呼びかけがありました。その為のアンケート調査を実施中で、それらを基に事業の推進を図りたいという考えが示されました。当館としても十分検討に値する事業展開の可能性が考えられます。これは今後の課題です。

また午後のプログラムでは「地域づくりのための博物館の役割」をテーマに、事例発表がありましたが、7つのキーワードに博物館の役割の本質をみた感じです。そのキーワードは、①地域づくり、②新しい公共、③地域の課題解決、④博物館の活性化、⑤支援・振興・連携・融合、⑥新しい博物館の役割、⑦持続・継続可能な取り組み、でした。

これらは当館・開館年度からのコンセプトに相通じる内容でした。特に博物館は情報発信施設であり、教育施設であり、それらを統合しての地域貢献を果たす場であるという認識は大事にしたいと思えます。

最後にコメンテーターの「博物館の地域連携は無限大の可能性がある」との発言は全く同感でした。



全国博物館館長会議における午後のプログラムの模様

## 活 動 報 告

### 開館記念日に藤田勉氏から楽曲提供いただきました 4月24日(土)

4月24日は、湯之奥金山博物館の開館記念日で、多くの皆様のご支援・ご協力を賜ると同時に、開館以来の地道な努力の結果、開館から13年目を迎えました。毎年「記念事業」として、記念植樹などを行って来ましたが、今年はこの日に合わせて、ロックバンド・パーソンのドラマーでもある藤田勉さんより、博物館のBGMを寄贈していただきました。この話題は、地元山梨日日新聞でも大きく取り上げていただきましたので、目にされた方も大勢いらっしゃるかと思います。下部温泉を訪れた藤田さんのお申し出により実現したものです。

現在、館内ではエントランスに「黄金の精・湯之奥にやどる」、そして砂金採り体験室では、体験されている方の手が軽快に動いてしまうような、「甲斐黄金村の誕生」がBGMとして流れています。

藤田さんによると「エントランスでの音楽は、生气や活気に満ちあふれた湯之奥の山々とそこに暮らす金山衆たちの澁刺とした一日の目覚めを、体験室での音楽は、金山衆の日々の営みと黄金を生み出していく充実した慶びをイメージして音楽に表現しました」とのことです。

これまで、例えば、広い体験室で数人の体験者のみだと少し寂しげに黙々行う作業に見えた砂金採り体験が、このBGMのおかげで傍目から、少人数でも華やかに感じますから、音楽の力は不思議なものです。



藤田さんは「また、機会があれば是非関わった音楽を作りたい」とおっしゃってくださり、また記念日に合わせて素敵なブルーローズの花束もいただきました。体験室壁面には、このBGMの説明パネルも掲示してありますので、ご一読いただくとともに、ご来館の際は、耳を澄ませてこの素敵なBGMをお聞きいただきたいと思います。

これからも社会全般に不況に伴う厳しい時代は続きますが、これからも全国の鉱山研究拠点、学術文化拠点としての面を充実させ、同時に多くの皆様が楽しみ学習していただける、身延町・下部温泉の観光拠点施設、地域に密着した温かい施設づくりを目指し、次の節目に向けてますます邁進して参ります。

### 湯之奥・中山金山遺跡現地見学会

6月1日(火)、6月13日(日)

湯之奥中山金山遺跡の現場は、当館事業の見学会以外に、課外学習として見学をしたいという依頼をいただき対応することがたくさんあります。6月は中山金山現地への登山を6月1日(火)、ことぶき勸学院の皆さん、そして13日(日)は、長野県塩尻市の中央公民館の皆さんと2回開催しております。13日は登山は総勢27人という大人数での登山となりましたが、皆さん、改めて中山金山の大変さを体で感じながら現地見学をしました。

行きはゆっくりゆっくりと登っていき、下山

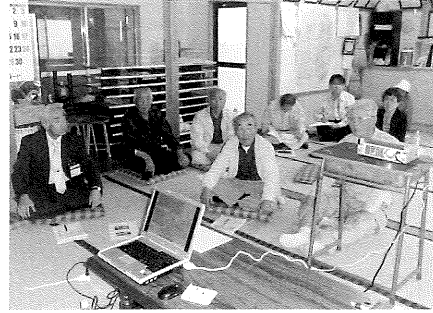
の際は一団を3パート程に分けて各自のペースに合わせて下山。小学3年生の少年たち5人ほどは、先頭スタッフと元気よく、後ろから見ている人たちから言わせると「舞い降りる位の勢い」の元気ぶりでした。

博物館に戻り、閉会式の際には「大変有意義で、想像以上の良い見学会となりまして、博物館スタッフの皆さんに感謝いたします」と、塩尻公民館長さんより御礼のご挨拶をいただきました。

## 根子集落・万福鉱山座談会を開催いたしました!

4月30日(金)

去る4月30日の午後、地元・根子集落において、万福鉱山座談会を開催しました。これは根子集落地域活性協議会の皆様の協力により実現したもので、地元の鉱山遺跡をなんらかの形で活用できないかという方策と、歴史的経緯やその素晴らしさを地元の皆さんに改めて確認していただくことを目的としたものです。座談会には多くの皆さんがお集まりくださり、操業当時の様子を口々に語っていただきました。近代の鉱山の操業の現役時代の様子を、幼少の頃から近くで見ていた皆さんからは、資料に掲載されていない貴重な情報や昔話を聞くことが出来ました。



万福鉱山についての説明講義には、当館事業の公開講座でも講師を依頼している五味篤先生にお願いしました。

県下でも数少ない銅精錬所を有していた万福鉱山。まずは、その歴史的経緯を資料にてご紹介いたします。

なお、万福鉱山の歴史については、今後、企画展などで取り上げ、また『金山史研究』等刊行物に掲載し、とりまとめご紹介していきます。



## 万福鉱山資料

### 1. 万福鉱山鉱区…山梨県南巨摩郡身延町古閑字根子

採掘登録山梨第97号 12,231アール (旧試掘登録2,293号)、鉱種 金・銀・銅鉱

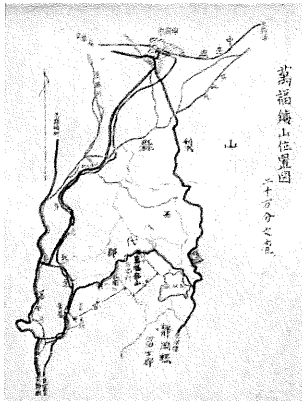


図1 万福鉱山位置図

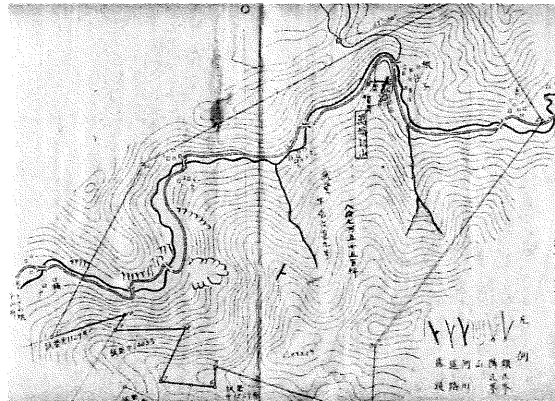


図2 万福鉱山鉱区図

### 2. 万福鉱山経緯

武田信玄公より日根子銅山として稼行されたと云われるが詳細は不明である。

- |             |  |
|-------------|--|
| 元和 7年       | 銅山の開発者だったと云われる美濃国住人赤堀重太郎氏が、銅山の落盤事故受難者のために、自ら開基者となって地蔵菩薩を本尊として銅根山万福寺を創建したと伝えられる (下部町史)。 |
| 明治38年       | 石井千太郎氏旧坑を取明ける。   |
| 明治43年       | 還元製錬所を設け水準以下の鉱石の精錬を開始した。業務執行代表者石井千太郎氏、鉱山長中元甫之を中心に盛大に経営する (下部町史)。                       |
| 明治44年 7月27日 | 金山神社祭礼に際して神前に大幟20本を供えて神楽を舞い、余興に東京本場の相撲力士を招いて奉納相撲が行われた (下部町史)。                          |
| 大正元年10月     | 3番坑道より出水して休山、その後、山田氏が大日鉱山と改名し再開を企てたが具体的に作業はしなかった。                                      |
| 大正 7年       | 小野氏が稼行、現在の1番坑富鉱部に当たり、鉱石を茨城県日立製錬所に売鉱したが、銅価急落し再度休山する。                                    |

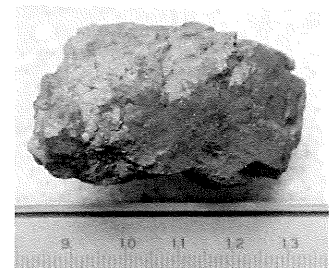
昭和12年 米沢氏が採掘出願する。  
 昭和19年 9月 新勝利氏の所有となる。  
 昭和23年12月22日 休山中のところを三井鉱山(株)山本廣技師が現地調査、その後、操業を再開し岡山県日比製錬所に売鉱したという。  
 昭和26年 和泉義忠氏が年間出鉱量95トン（粗鉱品位Cu2.1%）、従業員30名で稼行する（地質調査所：日本鉱産誌 I -b）。  
 昭和27-28年 手島幾也氏が残鉱を採掘し、茨城県日立製錬所に売鉱する。  
 昭和41年 内藤氏出願中のものを手島氏が買収する。  
 昭和43年 2月 試掘許可後、竹原化学(株)へ70%を譲渡、手島氏は租鉱券にて操業する。  
 昭和45年 2月17日 三井金属鉱業(株)荒川昇技師が現地調査する。当時、従業員男子4名、女子12名位、事務員1名にて鉱石生産量50~150トン/月で操業、栃木県足尾製錬所、福島県小名浜製錬所、秋田県小坂製錬所に売鉱する。  
 昭和46年 6月 閉山し現在に至る。

### 3. 鉱床地質

万福鉱山付近の地質は新第三紀御坂層の玄武岩、安山岩、安山岩質凝灰岩、泥岩からなり、一般走向NNE-S SW、傾斜30~40° SEをなし、鉱床付近にて一部、走向WNW-E SE、傾斜30° NEに変化する。

鉱床は泥岩を上盤とし安山岩を下盤とする境界部に賦存する含銅硫化鉄鉱床で、上盤側に緻密高品位鉱、下盤側に鉱染状低品位鉱がある。富鉱部は幅5~20m、厚さ0.5~2m程度で膨縮し、傾斜方向に連続する。主要な富鉱部は6列認められ、富鉱部と富鉱部の中間部には厚さ1~2mの低品位鉱染鉱があることがある。既開発範囲は水平100m、上下70mに渡り、下部は6番坑まで開発された。

鉱石は黄銅鉱、黄鉄鉱の微晶集合体で緻密均質にて方解石、絹雲母、緑泥岩を伴う。高品位部には輝銅鉱、斑銅鉱を産したという。



万福鉱山鉱石

### 4. 鉱床調査記録

#### (1)昭和23年12月22日調査

1番坑以下は水没していたので、1番坑準の鉱床肥大部1箇所の鉱石試料を採取した分析結果は以下のとおりであった。

位置	幅(米)	銅品位(%)	硫黄品位(%)	記 事
右側	1.5	7.5	33.51	3箇所から採取させるものを一括せり
奥部	2.0	15.82	20.65	〃
左側	2.0	7.81	20.35	〃
	平均	10.64	24.48	

この結果から計算された1番坑準の肥大部1箇所の鉱量は以下のとおりであった。

長径	短径	高さ	比重	既掘量	埋蔵鉱量
11.0米	5.0米	7.0米	3.0	180.0噸	120.8噸

なお、西坑口付近の明治43年製錬廃滓中の鍍の分析結果は以下のとおりであった。

種類	量(噸)	銅品位(%)	硫黄品位(%)	記 事
鍍	14.0	2.61	省略	鍍中より選出せるもの
鍍	2.0	分析省略	省略	鍍中に青緑色のもの交り
鍍	5.0	6.55	省略	釜底のもの
計	21.0	3.64		但19噸の平均

#### 【参考資料】

下部町(編纂) 下部町史 第13編 p.1866-1868.

地質調査所(編纂)(1956):日本鉱山誌BI-b主として金属原料となる鉱石-銅・鉛・亜鉛-p.194

山本廣(1948):万福鉱山調査報告 三井金属鉱業(株)調査資料47、荒川昇(1970):万福鉱山調査報告 三井金属鉱業(株)調査資料3633

## 2010・湯之奥金山博物館杯・第10回砂金掘り大会

来る 8 月 7 日(土)開催! 参加者募集中!

午前 9 時 (受付 8 時 30 分開始) ~ 12 時 30 分迄 ※予備日 8 日(日)・小雨決行

毎年恒例、博物館夏の祭典ともいえる「砂金掘り大会」。全国から、「我こそは砂金掘りの腕に覚えあり!」という猛者たちが集います。ジュニア、男女初心者、男女ベテランと 3 部門に分かれており、全部門混合で先着 100 名まで。現在、参加者募集中で、続々お申し込みいただいております。

今年は記念すべき第 10 回! 皆さんで大いに盛り上がりましょう!!



参加締切: 開催日前日 (6 日) の午前中まで  
定員: 100 名まで  
参加費: 大人 500 円  
小・中学生 300 円  
(受付時に頂戴いたします。)  
競技部門: ジュニアの部 (小~中学生)  
男女初心者の部  
(高校生以上の男女)  
男女ベテランの部 (年齢制限なし・  
過去入賞経験のある方は自動的に  
ベテラン部門にエントリーされます。)  
お申し込み・お問い合わせは  
当館 (0556-36-0015) までお願いいたします。

昨年の大会の様子。今年の総合優勝は誰の手に!?

## 第 7 回 東西中高交流砂金掘り大会

同日 午後 2 時 ~ 4 時 30 分まで

砂金掘り大会一般大会の後には、午後から第 7 回東西中高交流大会を開催。  
昨年優勝校・駿台甲府に立ち向かう灘、開成、山梨学院、参戦 2 度目の報徳学園、  
そして今年は、地元・峡南高校が強豪の常連校に立ち向かう!  
果たして、砂金掘りの腕を競う学生たちの熱い戦いの行方は!?

こちら皆様応援よろしくお願いします!

参加校: 灘(兵庫)、開成学園(東京)、報徳学園(兵庫)、  
駿台甲府(山梨)、山梨学院大学付属(山梨)、峡南高校(身延町)

### 2010年 砂金掘り大会 全日程

8:30~ 湯之奥金山博物館集合・受付開始  
9:00~ 開会式・ルール説明  
(デモ試合を含む)  
9:30~ 競技開始【ジュニア部門】  
10:05~ 【男女初心者部門】  
10:40~ 【混成予備試合門】  
11:10~ 【男女ベテラン部門】  
11:30~ 【頂上決戦】  
11:40~ ミニゲーム  
12:00~ 結果発表・表彰式  
12:30 一般大会終了。解散。

14:00~16:30  
東西中高交流砂金掘り大会  
17:00 すべてのプログラム終了・解散



## 2010夏休みプログラム 第2回科学実験教室

### 7月24日(土) 科学実験教室開催!

昨年当館で開催し、大変好評だった「化学実験カーがやってくる」。今年7月に開催される「国際化学オリンピック日本大会」の普及活動の一環で、プレイベントとして行われたものです。この「国際化学オリンピック」は1968年に始まった、世界の高校生が化学の力を競う国際イベントで、毎年世界各地で行われています。

より多くの子供たちが、体験的な実験を通して、化学を学ぶ楽しさや驚き、魅力を浸透させ、感動を体感できる絶好の機会として、湯之奥金山博物館でも、好評につき、今年も「夏休み自由研究 第2回 科学実験教室」として開催いたします。講師を務めてくださるのは、東西中高砂金掘り大会で、東京・開成学園を率いる宮本一弘先生。昨年「化学実験」に今年は「科学」の要素も取り入れて、タイトルは「科学実験教室」です。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

■期 日：平成22年7月24日(土) ※各実験開始時間は下表のとおりです。

■講 師：宮本一弘 先生(東京・開成学園教諭・理化学部顧問)

■協 力：化学だいすきクラブ、国際化学オリンピック日本委員会

■参加費：1実験 各300円

■場 所：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 多目的ホール

■対 象：小・中学生

※就学前のお子様でご参加希望される場合は保護者同伴でお願いいたします。

■定 員：各回とも20人まで(要 事前申込、重複参加可能)



#### ■実験内容

#### 第1回 実験 「シャボン玉を浮かべる!?!」&「冷却パックを作ろう!」

【時間】9:30~10:30 【対象】小学校低学年向け

【内容】2つの実験をおこないます。1つ目は「シャボン玉を浮かべる!?!」で、室内では下に落ちていくシャボン玉を浮かべる実験です。2つ目は「冷却パックを作ろう!」で、窒素肥料として用いられる尿素を使って冷却パックを作ります。ともに簡単にできる実験です。

#### 第2回 実験 光の不思議(偏光板の実験)&電気の実験

【時間】11:00~12:00 【対象】小学校低学年向け

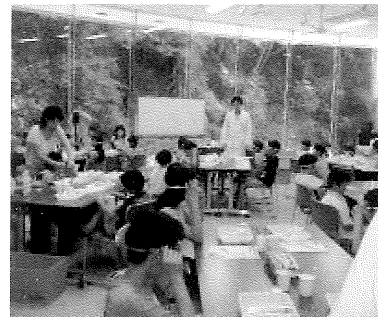
【内容】3D映画をみる時に使うメガネにも使われている偏光板を使って、光に関する不思議な実験をおこないます。他に偏光板がどこで使われているか調べてみましょう!また身近な静電気をを使った実験もおこないます。昨年の実験教室では登場していない実験です。

#### 第3回 実験 水の不思議(水の電気分解と爆鳴気)

【時間】11:00~12:00 【対象】小学校高学年から中学生

【内容】身近にある水ですが、いくつか実験をしてみると不思議な性質がみえてきます。また水の電気分解実験をおこない、水が何からできているか調べたり、爆鳴気の実験もおこないます。誰でも出来る簡単な実験で、水の電気分解について学習しましょう!

昨年と違う実験も交えています。



第10回こども金山探検隊 期日：平成22年7月31日(土)~8月1日(日)開催!

※ 定員に達したため申込終了しております。

# 館からお知らせ

## ～★～★～★～ 夏休み期間中の開館時間 ～★～★～★～

午前9時～午後6時まで(受付は午後5時30分まで)



今年、夏休み期間中限定ご来館イベント「ラッキーくじ」も開催！  
 毎年、夏休み期間に当たる8月中は、休まず開館しております。又、ご観覧でも体験でもチケットをご購入くださったお客様のうち、小さなお友達はもれなく、空くじなしの“ラッキーくじ”を引くことが出来ますヨ。(対象者：小学生以下のお子様)  
 お盆中に、帰省されたご家族や遊びに来たお友達を連れて、是非、金山博物館へおいでください。多くの皆様のご来館をお待ちしております。

## 夏休み自由研究プロジェクト2010

期日：平成22年7月19日(月) 午後1時30分～4時30分迄

山梨県下博物館美術館が集まって、自由研究のヒントを特別に教える合同プレゼン。今年もアイメッセ山梨(甲府市大津町2192-8)にて開催されます。今年も湯之奥金山博物館は出張砂金採り体験ブースと共に参加いたします。会場では他の博物館や美術館の解説ミニブックも手に入り、一日でいろんな施設の情報を手に入れるチャンス!どうぞお運びください。

## 親子映画観賞会

期日：平成22年8月18日(水) 午後1時～

映像シアターにて観賞無料(定員85人)。上映作品は決定し次第、博物館HP、他配布チラシなどでお知らせします。

## 博物館日誌 (平成22年4月～6月)

13日(日)	10日(水)	9日(水)	7日(月)	2日(水)	6月1日(水)	27日(水)	26日(水)	25日(火)	24日(月)	21日(金)	19日(水)	18日(火)	15日(土)	14日(金)	13日(木)	12日(水)	8日(土)	6日(木)	5月2日(日)	30日(金)	29日(木)	28日(水)	27日(火)	24日(土)	23日(金)	21日(水)	14日(水)	4月12日(月)					
中山金山登山	峡南高校課外学習 ワーキンググループ会議	空調点検・メンテナンス	YBSラジオ取材	休館日	中山金山登山(こぶき勸学院)	敷島中学校校内巡り	若草中学校校内巡り	休館日	山梨日日新聞取材	古文書教室	押原中学校校内巡り ワーキンググループ会議	休館日	一宮中学校校内巡り	浅川中学校校内巡り	しもべおんせんまつり (5/16日)	榊形中学校校内巡り	白根勸使中学校校内巡り	親子映画観賞会 「子象物語」 「地上に舞い降りた天使」	振替休館日	静岡県朝日テレビ取材・撮影 (於 根子公民館)	万福鉢山座談会	昭和の日	GW無休開館初日 (5/5日)	休館日	開館記念日	ウイザス高等学校校外学習	NHK甲府取材	松里中学校1年生県内巡り	休館日	増穂中学校校内巡り	万沢中学校1・2年生校外学習	休館日	古文書教室

## 編集後記

いよいよ夏休みが近づいて参りました。

今、下部はホテルのシーズン真っ盛りで、大勢のお客様がホテル観賞をひとつの目的に、館へも立ち寄ってくれます。ただ今年は、春に突然の雪が降ったり、朝晩の冷え込みが急激だったり、想定外の天候不順ぶり。そんなせいか、多少ホテル

乱舞も少なめの様子。とはいえ“例年より”というだけで十分観賞出来ますので、まだ今年はホテルを見てないな—という方、まだ間に合いますよ。

さて、そんな中、館では夏イベント開催に向けて、着々と準備進行中。今年も誰にもひと夏の素晴らしい思い出となるような工夫を凝らしていますので、お楽しみに。

## 博物館だより 第53号 平成22年6月15日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003  
 博物館HPアドレス [http://www.town.minobu.lg.jp/local\\_minobu/kinzan/index.html](http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html) 博物館Eメールアドレス [yunoking@town.minobu.lg.jp](mailto:yunoking@town.minobu.lg.jp)